

有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
第2次アクションプラン策定業務プロポーザルに係る質問回答書

令和2年9月28日

番号	質問事項	回答事項
1	①第一次のアクションプラン策定に際し、2017年～2020年の年度ごとの実施報告書をいただけないでしょうか。(どんなイベントを行われたのか等の概要を教えてくださいのため。)	2017～2019年度の実績報告書を提供します。なお、2020年度については、年度途中のため実績報告書を作成していません。
2	②①を実行した際の実行予算を教えてください。	1により提供した実績報告書の事業収支決算書をご覧ください。
3	有明圏域定住自立圏共生ビジョンについて現状のものは「～平成32年」となっています。今回のプロポーザルは、ビジョンに則り提案すべきかと思いますが、次年度以降のビジョンの方向性はどのようになりますでしょうか。大きく変わらないので、現状のビジョンに基づき提案を行うと理解してよいのか、あるいは、現段階で現状の課題に鑑み新たな方向性がありますでしょうか。	現状の第二次共生ビジョン及び第一次アクションプランを参考とし、仕様書に沿った提案をお願いします。
4	第1次アクションプランに基づいた取組や成果等を教えてください。拝見できる成果品(パンフレット等)がありましたら、併せてご提示をお願いいたします。	2017～2019年度の実績報告書及び広域観光マップ「四季暦」を提供します。
5	アクションプラン策定会議について参加者はどのような方たちで、何人ぐらいでしょうか。	有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会の構成団体(大牟田市、柳川市、みやま市、荒尾市、南関町、長洲町)の担当職員となります。6、7人程度です。
6	仕様書4(3)(エ)について第1次アクションプランにおける観光振興の具体的な目標をご教示ください。	<p>第一次アクションプランでは、「有明圏域定住自立圏内の市町が連携し、『また訪れたい』『誰かに伝えたい』感動を生み出す有明圏域定住自立圏の実現を図り、圏域内外の交流の促進につなげる」ことを目的としていました。</p> <p>また、第二次共生ビジョンでの取組内容とKPIは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容1 圏域内に存在する様々な観光資源及び地域資源の積極的な活用並びに情報発信を行うとともに、鉄道、道路等を活用した交流人口の増加を促進する。 KPI…広域観光の振興のためのツール開発等連携事業の実施 ・取組内容2 魅力ある圏域づくりのため、地域資源をいかした圏域内外との交流の促進を図る。 KPI…イベントを活用した相互情報発信件数

有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
平成29年度 事業実績報告

1. 総括

平成29年度は、平成28年度に作成したアクションプランに基づき、計9回の実務者会議を開催し、広域観光マップの作成並びに「有明海」をテーマとした体験プログラムの検討及び「この道」をテーマとした広域観光ルートの検討を行った。

2. 活動内容

(1) 第1回実務者会議

日 時：平成29年4月21日13時～

場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室

協議事項：・平成29年度予算（案）及び事業計画（案）について
・平成29年度事業の推進体制について

(2) 第2回実務者会議

期 間：平成29年5月12日13時30分～

場 所：大牟田市役所北別館4階 第2委員会室

協議事項：・平成29年度予算（案）及び事業計画（案）について
・平成29年度事業の推進体制について

(3) 総 会

日 時：平成29年5月30日13時30分～

場 所：大牟田市役所北別館4階 第4委員会室

協議事項：・平成28年度事業及び収支決算報告について
・平成29年度事業計画（案）について
・平成29年度収支予算（案）について
・規約の一部改正について
・平成29年度事業コンサルティング業務等について

(4) 第3回実務者会議

期 間：平成29年7月7日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館3階 第4会議室

協議事項：・（方策B）地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策 第1回グループワーク

(5) 第4回実務者会議

日 時：平成29年8月22日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館2階 第1会議室

協議事項：・（方策A）既存の観光資源を生かした誘客方策（MAPの作成）
・（方策B）地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策 第2回グループワーク

(6) 第5回実務者会議

日 時：平成29年9月25日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室

協議事項：・(方策 A) 既存の観光資源を生かした誘客方策 (MAP の作成)
・(方策 B) 地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策 第3回グループワーク

(7) 第6回実務者会議

日 時：平成29年11月6日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室

協議事項：・(方策 A) 既存の観光資源を生かした誘客方策 (MAP の作成)
・(方策 B) 地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策 第4回グループワーク

(8) 第7回実務者会議

日 時：平成30年1月26日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館3階 第2・3会議室

協議事項：・(方策 A) 既存の観光資源を生かした誘客方策 (MAP の配置場所)
・(方策 B) 地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策 第5回グループワーク

(9) 第8回実務者会議

日 時：平成30年2月26日13時30分～

場 所：大牟田市役所企業局3階 講習室

協議事項：・平成30年度事業について

(10) 第9回実務者会議

日 時：平成30年3月23日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館2階 第6会議室

協議事項：・平成29年度事業報告 (案) について
・平成30年度事業計画 (案) について

(11) 各市町催事への相互参加によるPRブース等の設置

各市町の催事において、構成市町のパンフレットの配布及びブースの相互出展を行った。

- ・平成29年4月1日：あらお梨の花元気ウォーク (荒尾市)
- ・平成29年5月3日：火の国長洲金魚まつり (長洲町)
- ・平成29年7月22日：マジック釣り大会 (荒尾市)
- ・平成29年7月22日-23日：おおむた「大蛇山」まつり (大牟田市)
- ・平成29年10月28日：柳川よかもんまつり (柳川市)
- ・平成29年11月19日：南関町ふるさと関所まつり (南関町)
- ・平成30年2月4日：イオンモール大牟田×FM たんと「がんばれ！！西日本中学駅伝応援イベント」



イオンモール大牟田×FM たんと「がんばれ！！西日本中学駅伝応援イベント」(平成30年2月4日)



おおむた「大蛇山」まつり
(平成29年7月22日-23日)

3. 広域観光マップ「有明の季節を巡る 四季暦」の制作

- ・アクションプログラム(方策A) 既存の観光資源を活かした誘客施策に基づき、観光客の圏域内の周遊促進を目的に広域観光MAPの制作を行った。

制作部数：12,000部

広域観光マップ設置・配布場所

- ・柳川市役所
- ・柳川市観光案内所
- ・みやま市役所
- ・みやま市観光協会(道の駅)
- ・荒尾市役所
- ・南関町役場
- ・長洲町役場
- ・金魚の館
- ・大牟田市役所
- ・大牟田観光プラザ
- ・市内、市外各イベント
- ・九州情報コーナー(福岡市役所) など



4. Facebook ページ「有明圏域定住自立圏広域観光振興部会」の立ち上げ

- 本部下の Facebook ページを立ち上げた。圏域のイベント等の情報発信を行う。



有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
平成29年度 事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

項目	①予算額	②決算額	差引額 (②-①)	備考
構成市町 負担金	2,250,000	2,250,000	0	柳川市:463,000 みやま市:312,000 荒尾市:390,000 南関町:165,000 長洲町:196,000 大牟田市:724,000
雑収入	50	18	△32	預金利息等
繰越金	596,183	596,183	0	平成28年度からの繰越金
計	2,846,233	2,846,201	△32	

【支出】

(単位：円)

項目	①予算額	②決算額	差引額 (①-②)	備考
コンサルティング費	2,477,520	2,477,520	0	(内訳) ※主なもの ・地域資源の磨き上げに係る各部会 運営支援 1,204,000 円 (文献調査及び現地調査5回) (ストーリー化、ルート化) (部会運営支援6回) ・既存の観光資源を活かしたツールの 作成 A2 サイズ、12,000 部 (制作費、印刷費) 710,000 円
部会活動費	100,000	0	100,000	取り組みに係る事業費及び諸雑費等
広報活動 宣伝費	50,000	3,390	46,610	広域観光ガイドブック及び広域観光 マップの郵送費
事務局経費	50,000	1,274	48,726	事務消耗品、文書郵送費等
予備費	168,713	0	168,713	
計	2,846,233	2,482,184	364,049	

【次年度繰越額】

(収入) - (支出) = 2,846,201 円 - 2,482,184 円 = 364,017 円

有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
平成30年度 事業実績報告

1. 総括

平成30年度は、平成28年度に作成したアクションプランに基づき、計6回の実務者会議を開催し、「有明海」をテーマとした体験プログラム「有明海サンセットヨガ」の実施をした。また、平成29年度から検討を開始した「この道」をテーマとした広域観光ルートについて視察を行った。

2. 活動内容

(1) 第1回実務者会議

日 時：平成30年4月13日13時～
場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室
協議事項：・平成30年度事業について

(2) 第2回実務者会議

日 時：平成30年5月16日13時30分～
場 所：大牟田市役所職員会館2階 第1会議室
協議事項：・平成30年度事業及び収支予算について

(3) 総 会

日 時：平成30年6月6日16時30分～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第4委員会室
議 案：・平成29年度事業及び収支決算報告について
・平成30年度事業計画（案）について
・平成30年度収支予算（案）について
・規約の一部改正について

(4) 第3回実務者会議

日 時：平成30年7月2日13時30分～
場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室
協議事項：・（方策A）既存の観光資源を生かした誘客方策（広域観光マップの増刷）
・（方策B）地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策
有明海夕日ヨガの実施に向けた協議、「この道」ルートの視察に向けた協議

(5) 第4回実務者会議

日 時：平成30年8月10日13時30分～
場 所：大牟田市役所職員会館3階 第5会議室
協議事項：・（方策A）既存の観光資源を生かした誘客方策（広域観光マップの増刷）
・（方策B）地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策
有明海夕日ヨガの実施に向けた協議、「この道」ルートの視察に向けた協議

(6) 第5回実務者会議

日 時：平成30年10月26日16時00分～

場 所：大牟田市役所職員会館2階 第6会議室

協議事項：
・(方策B) 地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策
「この道」ルートの視察について
・来年度予算について

(7) 第6回実務者会議

日 時：平成30年11月30日13時30分～

場 所：大牟田市役所職員会館2階 第1会議室

協議事項：
・(方策B) 地域資源の新たな価値づくりによる誘客方策
「有明海サンセットヨガ」及び「北原白秋の『この道』ルートの視察」に関する振り返り
・令和元年度の事業内容について

(8) 各市町催事への相互参加によるPRブース等の設置

各市町の催事において、構成市町のパンフレットの配布及びブースの相互出展を行った。

- ・平成30年7月21日：マジック釣り大会（荒尾市）
- ・平成30年7月28日-29日：おおむた「大蛇山」まつり（大牟田市）
- ・平成30年10月20日：金魚と鯉の郷まつり（長洲町）
- ・平成30年11月18日：ふるさと関所祭（南関町）
- ・平成30年11月24日-25日：柳川よかもんまつり（柳川市）
- ・平成30年11月24日-25日：まるごとみやま秋穫祭（みやま市）



おおむた「大蛇山」まつり（大牟田市）
（平成30年7月28日-29日）



マジック釣り大会（荒尾市）
（平成30年7月21日）

(9) 有明海サンセットヨガ



大牟田市開催分

実施日：平成 30 年 10 月 7 日

※10月6日開催予定だったが台風のため延期

場 所：三池港あいあい広場

参加者：40名（定員50名／予約時では60名受付）

■参加者からの声

- ・初めてのヨガでしたが最高の景色の中とても気持ちよかったです。三池港の夕日がこんなに綺麗だと知りませんでした。インスタ映えも自慢できます。
- ・サンセットの素晴らしいロケーションの中で温かく気持ちよく心洗われました。



荒尾市開催分

実施日：平成 30 年 10 月 13 日

場 所：荒尾干潟蔵光海岸

参加者：85名（定員50名）

■参加者からの声

- ・初めて来た荒尾海岸の夕陽がきれいだったこと。（非常に満足）
- ・有明海という大自然の中で自然を直接体験できたため、空気を太陽がとにかく「うまい」という体験ができて良かったため。

長洲町開催分

実施日：平成 30 年 9 月 29 日 ※台風の影響に伴い中止

場 所：有明フェリーサンライズ号

参加者：40名（予約受付人数）

■所感

- ・地元の飲食店や有明フェリーの協力をはじめ、女子大生がボランティアを志願してくれるなど、地元の方の協力を多く得ることができたイベントだっただけに実施できず非常に残念。

総 括

- ・「有明海サンセットヨガ」については、満足度が非常に高いイベントとなったため、有料化を図れば自立して開催できるイベントである。理想としては、本協議会が主催するのではなく、地元の団体やヨガのインストラクターにこのロケーションを認知してもらい、利用してもらうこと。
- ・今回は圏域内からの参加者が多かったが、「初めて足を運んだ」という声も多く、有明海の夕日の美しさを認識してもらうことに繋がった。
- ・チラシを3市町合同で作成できたのは良かった。参加者の都合に合わせて参加イベントを選んでもらうことができた。例えば、大牟田市開催分の予約が定員に達した場合、他の市町開催分を案内することができた。

(10) 北原白秋の「この道」ルートの検討

北原白秋の幼少期の頃を詠って作詞された「この道」。北原白秋の母親のふるさとであった南関町と、幼少期を過ごした柳川とを結ぶ道をたびたび行き来した思い出を現代に重ね合わせ、みやま市、柳川市、南関町に点在する北原白秋縁の地をルート化するため、視察場所をリストアップし協議を行い視察を実施した。

実施日：平成 30 年 11 月 9 日

行程表

到着時間	視察箇所
9:00	北原白秋生家
10:40	リバーフロー
12:00	菊美人酒造
13:00	清水寺
13:40	道の駅みやま
14:10	筒井時正玩具花火製造所
15:30	豊前街道南関御茶屋跡
16:35	いきいき村



■視察後の意見交換

- 素材としてなかなか気付かれにくいですが、楽しんでもらえるコースだと思った。
- お客様のニーズに合わせて話をできるよう、ガイドの育成が必要であると感じる。
- ストーリーを親から子へ語り継ぐ、家族で回るコースも良いと思った。
- 現地に行かないと知ることのできないことが多くあり、感動を味わうことができた。
- 白秋生家でも本坊庭園でもお話を聞いて良かったし、白秋生家で知識を得たことでその後の行程もより楽しむことができた。また、リバーフローや道の駅みやま、南関御茶屋跡で美味しい食事やお茶をいただくことができ、それも良かった。みやまの筒井時正玩具花火製造所では、線香花火づくり体験もできた。「食」あり「体験」あり「地元の人との触れ合い」もあり、本坊庭園での景色や柳川の川下りの「景色を楽しむ」ことができ、最後は御茶屋跡でゆっくりとした時間を過ごすことができるととてもバランスの良いルートであると感じた。
- ルートをつくるのは良いが、周知方法や誘客が課題。

(11) 有明の季節を巡る「四季暦」

平成 29 年度に作成した広域観光マップ「有明の季節を巡る「四季暦（しきごよみ）」の改訂増刷を行った。中面のマップ面には各市町の観光案内所の情報を新たに掲載した。

部数：20,000 部



(12) Facebook ページ「有明圏域定住自立圏広域観光振興部会」



圏域内のイベントの情報発信を行った。また、映画「この道」の公開（平成 31 年 1 月 11 日公開）にあわせ、北原白秋の「この道」ルートの視察の際に撮影した写真を活用し、「白秋」に縁のあるスポットの紹介を行った。

有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
平成 30 年度 事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

項目	①予算額	②決算額	差引額 (②-①)	備考
構成市町 負担金	2,250,000	2,250,000	0	柳川市:464,000 みやま市:312,000 荒尾市:391,000 南関町:165,000 長洲町:196,000 大牟田市:722,000
雑収入	30	17	△13	預金利息等
繰越金	364,017	364,017	0	平成 29 年度からの繰越金
計	2,614,047	2,614,034	△13	

【支出】

(単位：円)

項目	①当初予算額	②決算額	差引額 (①-②)	備考
コンサル ティング費	2,291,760	2,292,624	△864	(内訳) ※主なもの ・サンセットヨガイイベント実施 980,000 円 告知用ポスター等作成/当日対応/ 講師謝礼/カメラマン謝礼 ・「この道」ルート視察 160,000 円 カメラマン謝礼/当日対応 ・コンサルティング業務 700,000 円
印刷製本費	212,000	203,580	8,420	広域観光マップ増刷 (20,000 部)
部会活動費	90,000	29,635	60,365	「この道」ルート視察費
広報活動 宣伝費	10,000	0	10,000	
事務局経費	5,000	7,621	△2,621	事務消耗品、文書郵送費等
予備費	5,287	0	5,287	予算流用 (事務局経費不足分)
計	2,614,047	2,533,460	80,587	

【次年度繰越額】

(収入決算額) - (支出決算額) = 2,614,034 円 - 2,533,460 円 = 80,574 円

有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
令和元年度 事業実績報告

1. 総括

令和元年度は、平成28年度に策定したアクションプランに基づき、第2次有明圏域定住自立圏共生ビジョンに掲げる、地域資源を活かした圏域内外の交流及び戦略的な広域観光振興を行うことを目的として、域内の回遊促進を図るため、「有明圏域物産館めぐり（スタンプラリー）」を実施した。また、観光情報の発信としては、各自治体でのイベントにおける共同PRや、部会のフェイスブックページを活用した情報の発信等を行った。

2. 活動内容

(1) 第1回実務者会議

日 時：令和元年6月5日 14時～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第1委員会室
協議事項：・令和元年度総会について

(2) 第2回実務者会議

日 時：令和元年6月21日 14時～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第2委員会室
協議事項：・令和元年度総会について
・今後の広域観光振興部会について

(3) 総 会

日 時：令和元年7月17日 16時～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第2会議室
議 案：・規約の一部改正について
・平成30年度事業実績報告について
・平成30年度事業収支決算書について
・令和元年度事業計画（案）について
・令和元年度収支予算書（案）について
・役員改選について

(4) 第3回実務者会議

日 時：令和元年8月7日 10時～
場 所：大牟田市役所職員会館2階 第6会議室
協議事項：・スタンプラリー等の内容検討
・「この道ルート」モニターツアー内容の検討
・コンサルティング業務委託について

(5) 第4回実務者会議

日 時：令和元年9月2日 10時30分～
場 所：大牟田市役所職員会館2階 第6会議室
協議事項：・「この道ルート」モニターツアーとスタンプラリー事業の統合について
・業務委託契約の内容について

(6) 第5回実務者会議

日 時：令和元年10月11日15時～
場 所：大牟田市役所3階 経営(302号)会議室
協議事項：
・スタンプラリー事業の内容について
・部会の今後の方向性について

(7) 会議(課長会議)

日 時：令和元年12月3日14時～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第2会議室
協議事項：
・部会の今後の方向性について

(8) 第6回実務者会議

日 時：令和2年1月14日14時～
場 所：大牟田市役所北別館4階 第2委員会室
協議事項：
・令和2年度以降の事業について
・第3次有明圏域定住自立圏共生ビジョン策定に係る調書の作成について
・有明圏域物産館めぐり(スタンプラリー)について

(9) 第7回実務者会議

日 時：令和2年3月4日10時～
場 所：大牟田観光プラザ 研修室
協議事項：
・令和2年度事業について
・有明圏域物産館めぐり(スタンプラリー)抽選会

(10) 各市町催事への相互参加によるPRブース等の設置

各市町の催事において、四季暦や構成市町のパンフレット配布及びブースの相互出展を行った。

- ・令和元年5月3日-4日：火の国長洲金魚まつり(長洲町)
- ・令和元年7月27日：マジック釣り大会(荒尾市)
- ・令和元年7月27日-28日：おおむた「大蛇山」まつり(大牟田市)
- ・令和元年11月17日：ふるさと関所まつり(南関町)
- ・令和元年11月23日-24日：まるごとみやま秋穫祭(みやま市)



おおむた「大蛇山」まつり(大牟田市)
(令和元年7月27日-28日)



ふるさと関所まつり(南関町)
(令和元年11月17日)

(11) 有明圏域物産館めぐり

域内の回遊促進と消費喚起を目的とし、各ポイントでスタンプを押し、買い物などの「+ミッション」を達成すると、ご当地キャラクター缶バッジや特産品等が当たるスタンプラリーを実施した。



・期間 令和元年12月14日～令和2年2月29日

・スタンプ設置施設（6施設）

大牟田観光プラザ、まるごとあらお物産館、柳川よかもん館、道の駅みやま、なんかんいきいき村、金魚と鯉の郷広場・金魚の館

・「+ミッション」施設（10施設）

なんかんいきいき村を除くスタンプ設置施設に加え、大牟田市石炭産業科学館、万田坑、北原白秋生家・記念館、長田鉱泉場、南関御茶屋跡

・制作物

制作物	数量	設置箇所
スタンプラリー台紙	15,000部	観光施設等
缶バッジ	900個	「+ミッション」施設
スタンド及び展示物	12個	スタンプ設置施設、「+ミッション」施設
スタンプ	6個	スタンプ設置施設
シール	3,000枚	「+ミッション」施設
ポスター	30枚	観光施設等

・広報について

各市町の広報紙（12月号）及びホームページ、広域観光振興部会のフェイスブック、FMたんと、各施設へのポスター・チラシの掲示等の情報発信を行った。

・応募者数と当選者数

賞	応募者数	当選者数	賞品
圏域を回ったで賞	119	30	各市町の特産品（2,000円程度）
「+ミッション」頑張ったで賞	84	10	特産品詰め合わせ（5,000円程度）
パーフェクト賞	23	3	特産品詰め合わせ（10,000円程度）
※無効票	1		
総数	227	43	

(12) Facebook ページ「有明圏域定住自立圏広域観光振興部会」



有明圏域定住自立圏広域観光振興部会
 作成者: 坂口 優美 (7) · 2019年12月12日 · 🌐

大牟田市、柳川市、みやま市、荒尾市、南関町、長洲町の物産館などを巡るスタンプラリーが始まります！
 各ポイントでスタンプを押し、買い物などの「+ミッション」を達成すると、各自治体のご当地キャラクター缶バッジや豪華賞品が当たっちゃう♪
 「知っているようで知らないお隣のまち（もちろん自分の住んでいるまちも！）」の名所や物産を、お得に・楽しく知るチャンス！
 ぜひチャレンジしてくださいね (=^I^=)

◆とき 令和元年12月14日（土）～令和2年2月29日（土）
 ◆参加費 無料
 ◆内容 各市町にある「スタンプ設置場所」と「+ミッション」施設」を回ってください。集めたスタンプや「+ミッション」への参加数に応じた賞品が当たります。
 詳しくはホームページをご確認ください。
<http://www.city.omuta.lg.jp/kankou/hpkiji/pub/detail.aspx...>

広域観光振興部会の公式 facebook アカウント「有明圏域定住自立圏広域観光振興部会」を活用し、圏域内のイベントの情報発信を行った。

【掲載実績】

- ・令和元年 12月 12日
スタンプラリー告知
- ・令和2年 1月 9日
スタンプラリーPR
- ・令和2年 1月 29日
スタンプラリー賞品のお知らせ
- ・令和2年 1月 31日
北原白秋生家開館50周年記念特別展
～白秋「思ひ出」の生家～



有明圏域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会
令和元年度 事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

項目	①予算額	②決算額	差引額 (②-①)	備考
構成市町 負担金	2,250,000	2,250,000	0	柳川市:464,000 みやま市:311,000 荒尾市:392,000 南関町:165,000 長洲町:197,000 大牟田市:721,000
雑収入	15	13	△2	預金利息等
繰越金	80,574	80,574	0	平成 30 年度からの繰越金
計	2,330,589	2,330,587	△2	

【支出】

(単位：円)

項目	①当初予算額	②決算額	差引額 (①-②)	備考
コンサル ティング費	2,000,000	0	2,000,000	コンサルティング業務委託を行わず、 部会で事業を行った。事業に係る経費 は、業務委託費と事業費で支出した
業務委託費	0	756,250	△756,250	スタンプラリー台紙、缶バッジ、スタ ンプ、シール等製作費
事業費	0	187,513	△187,513	スタンプラリー賞品購入、郵送代
消耗品費	50,000	660	49,340	
事務局経費	20,000	410	19,590	事務消耗品、文書郵送費等
予備費	260,589	0	260,589	
計	2,330,589	944,833	1,385,756	

【次年度繰越額】

(収入決算額) - (支出決算額) = 2,330,587 円 - 944,833 円 = 1,385,754 円